

佐久島ツリーハウスプロジェクト 2

“reflection”

反射

landscape / color

風景 / 色

長岡 勉
[POINT]

2023.12.16 SAT → 2024.3.31 SUN

会場 / 愛知県西尾市佐久島

大山 こもれびの小径

(西港渡船場下船徒歩15分)



ツリーハウス『森のパレット』横山将基【TAB】 / 撮影：香村聖文

【お問合せ先 / 西尾市役所佐久島振興課】

〒444-0424 愛知県西尾市一色町小藪船江東176番地 佐久島ナビステーション内 9:00~17:00 水曜休 TEL:0563-72-9607 FAX:0563-72-3502

E-mail:sakushima@city.nishio.lg.jp 主催:西尾市 共催:佐久島・島を美しくつくる会 企画・制作:オフィスマッチングモウル



風景／色 — 風景を色で割る —

Artist statement

長岡 勉

佐久島ツリーハウスプロジェクト2『反射 風景／色』は、横山将基 [TAB]による『森のパレット』(2022)という既存のツリーハウスをそのまま活かす形で、森の体験を再定義することを目指したプロジェクト。

水平方向に伸びる楕円形の『森のパレット』に、3枚の光沢のある色鮮やかな円盤を差し込むことで、強い存在感を持ちながら、同時に風景を新たに溶け込ませる場所を作ることを目指した。

風景に溶け込まず、風景を溶け込ます

3枚の円盤は、垂直方向に2枚が両面貼り合わせとなった円盤と、『森のパレット』の上に置かれた1枚の水平の円盤から構成されている。色鮮やかな円盤そのものは風景に溶け込まず、むしろ強い存在感を発揮しながら、その円盤自体は鏡のように鏡面塗装が施されているため、その内部に森の風景を溶け込ませる。

『森のパレット』に人が集まり、そこで寛ぎながら円盤を眺めると、“風景”と“その風景にはない色鮮やかで人工的な色面”が混ざり合った新たな風景を目にすることになる。この体験を生み出す仕掛けをここでは“風景を色で割る”と呼んでいる。



佐久島の秘密基地／アポロ(2013)



知識の蜂の巣(2017) ※佐久島ナビステーション内

長岡 勉

NAGAOKA, Ben

1970年 東京生まれ。1997年慶応義塾大学SFC政策メディア研究科修了。1999年からPOINTとして活動。2020年からはVUILD株式会社のメンバーとしても活動している。佐久島では『サンカク』(佐久島弘法プロジェクト、2011年)、『佐久島の秘密基地／アポロ』(JCDデザインアワード 2013金賞)、『知識の蜂の巣』(JCDデザインアワード 2018銀賞)の3作品が常設されている。また名鉄西尾駅東側ベデストリアンデッキに2022年にオープンした多目的交流スペース『おいでつき』では家具を含めた空間デザインを担当した。現在、慶応義塾大学、武蔵野美術大学、東京造形大学等で非常勤講師。



佐久島情報を
チェックしよう



佐久島公式サイト



三河・佐久島
アートプラン21サイト



佐久島アート
Instagram



三河・佐久島
アートプラン21 Twitter